



中・四タイムス

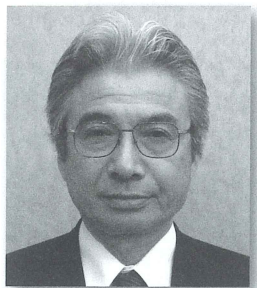
社団法人日本建築積算協会 中国四国支部
〒730-0013 広島市中区八丁堀3-12-301
TEL 082-221-9759 FAX 082-221-9794
ホームページ <http://bsij-ts.com/>
E-mail thugokushikoku@bsij.or.jp



香川県立東山魁夷せとうち美術館

支部長あいさつ	1
中国四国支部通常総会開催	2
退任挨拶	4
新任挨拶	7
ご報告	10
平成 23 年度「建築積算士」試験案内	12
平成 23 年度「建築コスト管理士」試験案内	13
『ここが知りたい勉強会』のご案内	14
「建築数量積算」講習会のご案内	16

■ 支部長あいさつ



今年度の支部活動方針

中国四国支部長 太田 和夫

今年も暑い季節がやってきましたが、会員の皆様方にはお元気でご活躍のことと思います。また日頃より積算協会に対し、ご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。ようやく少し明るい話題が聞こえました矢先のこと、3月に起こりました東日本大震災によりましてまたまた厳しい時代へと逆戻りしてしまいました。非常に大きな衝撃でした。被災された方々に慎んでお見舞いを申し上げますとともに、今こそこの中国四国から、いや西日本から、“元気”を送らなければと思っています。

さてその“元気”、“頑張り”の一つの表れといたしまして、積算協会の大きな動きを説明しておきましょう。前回の『中・四タイムス』でもお話ししましたように、我が積算協会は、熟慮に熟慮を重ねました結果、公益社団法人への道を目指すことになり、来春の移行に向け関係者一同、一丸となって取り組んでいるところです。先日（5月24日）行われました平成23年度本部通常総会におきまして、満場一致で承認され、正式に決定いたしました。

公益法人移行の大きなメリットには次の2項目があげられます。

- ①建設業界は多くの団体が一般社団法人へ移行するため、業界における公益社団法人は稀少となり、一層公益社団法人への存在価値が高まり、当協会の地位が向上する可能性が大きいこと。
- ②当協会の認定資格である『建築コスト管理士』『建築積算士』『建築積算士補』の第三者性が向上し、その活用領域が拡大し、社会的価値を高めることが期待されること。

ただそこからの継続的な発展ということになりますと、まだまだ課題は山積みです。会員や資格者の数の問題、学校教育の問題、会員サービスの問題等々といった具合です。

その中でも最重要課題はもちろん、会員ならびに建築積算士の人数の減少という問題です。昨年度のキャンペーンで若干の会員数の増加はありましたが、思い切って会費を大幅値下げしただけの効果にはつながっていません。そこでこの度、本部より大号令がかかり、『企業訪問』を実施することになりました。狙いはもちろん人数の減少に歯止めをかけることです。対象企業はと言いますと、建設会社、設計事務所、積算事務所は当然のことですが、インテリア関係会社や不動産会社などにも、人材育成の必要性をアピールしようということになりました。ただしこれには非常に大きな労力と多くの時間を必要とします。関係の方々には大きな負担をお願いすることになりますが、これも積算協会の存続や、発展のためと思って、皆様のご協力をお願いする次第です。会員の皆様が周りの人に声をかけて、一人でも仲間を増やしましょう！皆様、どうぞよろしく願いいたします。

清水建設株式会社 広島支店

平成 23 年度 中国四国支部通常総会開催

平成 23 年度(社)日本建築積算協会中国四国支部通常総会を本部より川村理事の出席の下、開催されました。

先ず司会の横段副支部長より、総会開会挨拶に続いて総会成立宣言、支部会員総数 318 名、出席会員数 48 名、委任状による出席数 145 名…定款第 28 条により正会員の 1/2 以上の出席があり成立するとの報告。後、東日本大震災犠牲者の方への黙祷…太田支部長による挨拶、続いて本部・川村理事による挨拶がありました。支部規定により議長に太田支部長が選出され議事の審議に入りました。

日 時 平成 23 年 4 月 22 日 (金) 14:30 ~ 15:30
会 場 ホテル八丁堀シャンテ 広島市中区上八丁堀 8-28

<議案審議>

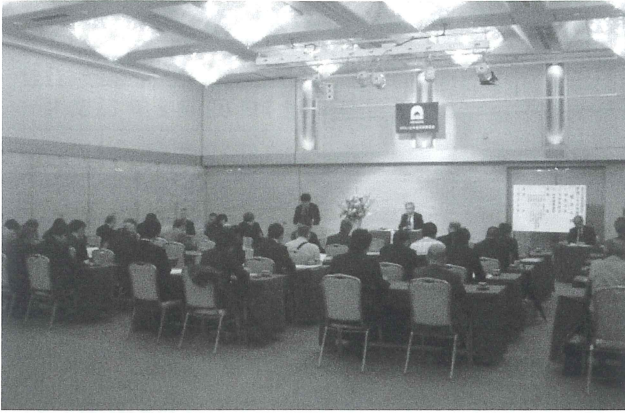
- 第 1 号議案 議事録署名人の選出 土居泰史氏・瀬尾淳二氏を選任。
- 第 2 号議案 平成 22 年度事業報告 大津副支部長より説明があり、審議の結果異議なしで承認された。
- 第 3 号議案 平成 22 年度収支決算及び監査報告
岡田広報・会員委員長より報告、菅会計監事より監査報告があり、審議の結果異議なしで承認された。
- 第 4 号議案 平成 23・24 年度支部役員改選(案) 大津副支部長より説明があり、審議の結果満場一致で承認された。
- 第 5 号議案 平成 23 年度事業計画(案) 大津副支部長より説明があり、審議の結果異議なしで承認された。
- 第 6 号議案 平成 23 年度収支予算(案) 岡田広報・会員委員長より説明があり、審議の結果異議なしで承認された。
- 第 7 号議案 その他 なし

退任役員表彰 太田支部長より退任役員(出席者)の岸本武氏、網代木元氏、中桐資文氏に感謝状及び記念品を授与。退任役員からの挨拶。

閉会の辞 議案・議事が無事終了し、議長退席。司会者より閉会の辞が述べられた。

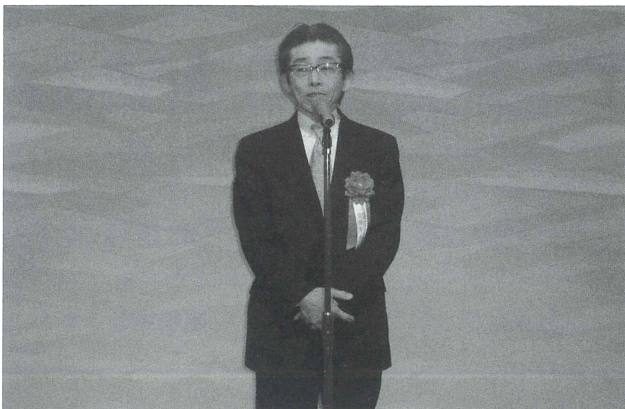
*平成 23 年度支部運営は、別添総会資料の通りです。



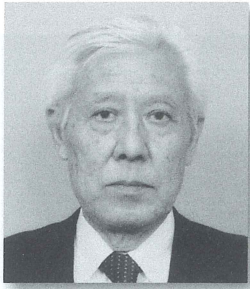


総会終了後、杉本慶司氏(国土交通省中国地方整備局 営繕部整備課 営繕設計審査官)による「公共工事の建築積算について」の講演会が16時～17時30分まで行われました。参加者全員が熱心に耳を傾けて聴講されていました。当日の参加者数は83名でした。詳細報告は、『ご報告』ページを御覧ください。

18時からは懇親会が開催されました。太田支部長、川村理事の挨拶に続き、ご来賓の内野井宗哉様(国土交通省中国地方整備局営繕部長)、猪木晴文様(広島県総務局財務部営繕課長)からご祝辞いただきました。来賓12名の紹介の後、錦織亮雄様(社団法人広島県建築士会会長)より乾杯の発声で開宴となりました。国土交通省中国地方整備局、広島県都市局及び総務局、(社)広島県建築士会、(社)広島県建築士事務所協会、(社)広島県設備設計事務所協会、(社)日本建築構造技術者協会中国支部、(社)日本建築家協会中国支部、(社)日本建築協会中国支部、(社)日本建築学会中国支部より、多数ご来賓をお迎えし、役員、会員、賛助会員の皆様が和やかに交流を深め、有意義な一時となりました。佐藤大三様(広島県設備設計事務所協会会長)より中締めのお言葉、万歳三唱のご発声をいただき盛会裏に終了いたしました。ご多忙中ご出席いただいた皆様には、改めて心よりお礼申し上げます。



■ 退任挨拶



岸 本 武

私儀平成23年度・支部通常総会を以って目出度く支部役員を卒業させて頂く事となりました。支部設立に関わって以来、副支部長（本部理事兼務）或いは支部役員として、31年間（途中東京転勤の為2年弱のブランクは有りますが）努めさせて頂きましたが、想えば長いようで、過ぎてしまえば短い年月だったなあと感じています。

今回役員退任となり支部報に退任挨拶（？）を書く様にと依頼を受けました。さて何を申し上げたら良いのか、余りにも思う事が有り過ぎて、書いては消し書いては消しで、一向に前に進みません。挙句の果てに、事務局・松木さんに頼みこんで、提出期限の延長をして頂く始末です。

さて前口上はこれ位にして、本題に入らない事には、何時まで経っても終われませんので、本題に入りたいと思います。

さて支部設立以来、支部会員の皆様には多々ご協力頂き、大変有難うございました。特に中国地方建設局営繕部（現国土交通省）の関係者の方々や広島県営繕課（当時）、広島市営繕課（当時）、建築士事務所協会の方々にも理解を示して頂き、大変有難く思ったものでした。その後も継続して、現在に至っております事は、支部役員の努力により、この会に対する何物にも替え難い、信頼関係の証だろうと思っております（一人よがりかも知れませんが）。

支部役員の皆様方の協会（本部、支部）に関する考え方、その思いも随分と変化・成長し又協会としては、会の益々の発展と会勢拡大に対する施策も打ち出されて、将来に向けて大変希望の持てる協会になって行くのではないのだろうかと感じています。

私も支部役員は退任致しましたが、退会した訳ではありませんので、一会員としての協力はさせて頂くつもりでおりますので、今後共よろしくお願い致します。

又、今後も支部を引っ張って行かなければならぬ太田支部長始め支部役員の皆様方には、まだまだ大変な事ばかりかと思いますが、次の時代に向けて頑張る事をお願いして、支部役員卒業のご挨拶とさせていただきます。

尚卒業に際しては、立派な卒業証書と素晴らしい記念品を頂戴し、大変有難うございました。

株式会社広島二葉積算



網代木 元

この度、支部役員を退任し支部顧問となりました。31年の間、積算協会に関わらせて頂き沢山の思い出と多くの友人を得ることができました。皆様から頂いたご縁を大変誇りに思っていますし、私の財産として大事にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

昨年は、支部と私のところの会社の設立年が同時期ということから両方の30周年記念事業が重なり、忙しくもありましたが楽しい体験を致しました。

積算協会は、本部に新執行部員が確立され公益社団法人成りを目差して頑張っています。平成25年度には見事に新しい団体として生まれ変わっていることと思います。中国四国支部も新しい運営に対応されて、益々の発展を続けられることをお念じいたします。

私のところの会社も、この機会に新社長（長男）の体制に移行して、現在は佐藤副社長と共に頑張ってくれています。積算協会を始め、長年に渡って色々な施設や団体の活動を勝手気ままにさせて頂けたのも、社員の協力があったからこそと感謝しております。

私のソフトランディング（軟着陸・安定成長）を一つ一つ実行したいと考えています。しかし、まだまだ元気ですので色々なことにチャレンジしています。

一つは10年位前からの絵ですが、油彩は若い頃に習い事したことがあって家では油臭くて家族に迷惑がかかることもあろうかと透明水彩画を楽しんでいます。旅行の楽しみが増えましたし、まだまだ未熟ですが熱中する時間があることが素晴らしいと思います。モチーフの静物や風景をみて絵の構想を楽しんでいます。

年寄りのイメージですが、私は最近生前墓を建立しました。戦中、戦後の両親の苦労話が十分聞けてないので、本家から分骨を頂き先に入れてもらって、何時の日か身近でゆっくりと満州時代の話でも聞くことが出来たらと思ったからでした。住職のお話を聞かせて頂く内に浄土真宗についての本を読むようになりました。今年の3月にはインド仏教の旅を住職達と行ってきました。ネパールの方まで行き釈迦のお膝元を垣間見ることが出来ました。ガンジス川、タージマハルなど遺跡観光も良いですが、北部山間部の仏教遺跡巡りもキツイ旅ですが後日不思議な程良い旅の印象が残って私の絵も3作品が出来ました。

流川界隈でヤンチャ騒ぎしていたのも良い思い出ですが、深酔いに体力が伴わなくなりご無沙汰のお店も多くなりました。最近では100mを平泳ぎですが平気で完泳しますし、昔の飲み友達から電話があれば直ちに参上しております。

引続き、よろしくお付き合い下さるようお願いいたします。

株式会社ハジメ積算コンサルタント

■ 退任挨拶



中 桐 資 文

日本の激震 2011 年 3 月 11 日午後 2 時 40 分頃、関東・東北大震災に見舞われ国内外に大きな影響が広がる昨今です。(社)日本建築積算協会中四国支部の総会においても被災地の皆様にご冥福の祈りを捧げ、一日も早い復興をお祈り致します。

私も当協会の岡山県部会委員長として 7 年間の勤めをさせていただき、公私共、協会をはじめ会員の皆様のご協力・ご指導のもと無事役目を終える事が出来たと自負致しています。振り返れば 7 年間は長くもあり、短くもあり、ただ県部会として十分な活動が出来たかと反省を致しております。

「耐震に関する法改正」「資格に関する改正」「積算に関する改革」「環境に関する問題」等々数多くの改正・改革がなされて来ましたが、県部会においても、設計事務所を対象にした勉強会も行って来ましたが、業務としていかに反映がなされているか？

また、中国四国支部での研修等、多くの講師の皆様には厚く感謝を致しています。今後、業界においても分業化に伴う中で厳しさが予測出来ますが、積算業務・コスト管理の重要性がさらに必要不可欠と思われれます。

高齢化も進む中で若い技術者の育成も問われる時代ではないでしょうか…

今後、中国四国支部におかれましても重要な位置づけとして業界のために、益々の活躍と、そして会員皆様の今後の発展とご健勝・ご多幸をお祈り申し上げます。

7 年間大変お世話になり重ねて御礼を申し上げます。

最後に退任にあたり記念品を頂き有難うございました。

有限会社中桐建築設計事務所

■ 新任挨拶



副支部長 栗 栖 繁

このたび副支部長を拝命させて頂くことになりました。浅学非才の身ながら、太田支部長の強い励ましを受け、多少なりとも皆様のお役に立つようにと思っております。

積算協会は、元支部長の古林さんは県の大先輩であり、重ねて高松先生は建築学会で一緒に仕事をさせてもらった縁もあって、私にとってとても身近な建築団体です。

私は、昨年広島県の都市技術総括監を最後に退職し、現在は民間の確認検査機関に勤めています。県庁では営繕課時代に体育館の設計などで、自分で積算をしたこともあります。その後は、委託設計図書や入札の積算書のチェックなどに関わって参りました。

一方、長い県庁勤務の間、建築の質の向上、建築業界の発展のためには、官民の協力が不可欠であると常に感じていましたが、一定の制約がありもどかしく思っておりました。今回一民間人となって、積算協会のために是非とも何かしたいと思った次第です。

中国四国支部ということで、県庁時代も各県の建築関係の人と交流してきており、その面でも何かお手伝いができると思います。

時代は激変の中にあり、積算や建築を取り巻く環境は厳しくなっていますが、少し違った視点を加えながら課題に取り組むのも意味があるかと思えます。副支部長として全力で頑張りますので、よろしくお願ひします。

株式会社広島建築住宅センター



総務・財務委員 大 旗 祥

このたび、総務・財務委員会の委員に選任いただきました、大旗祥と申します。

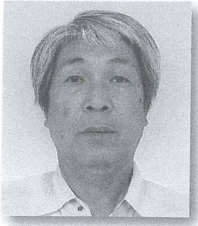
私は設計事務所で意匠設計を中心に建築に携っております。

縁あって本年度より積算協会へ入会させていただき、このような役目をいただきましたことをありがたく感謝し、微力ではございますが会の運営のお手伝いをさせていただけたらと思っております。

しかしながら、私はまだまだ経験年数も浅く、至らない点多々あることと思えます。皆様のご支援を頂き、責を果たしたいと思いますので、なにとぞご指導の程よろしくお願ひいたします。

大旗連合建築設計株式会社

■ 新任挨拶



高知県部会委員長 有瀬 貴

この度、高知県部会の委員長を務めさせていただきます有瀬です。

私は、高知市で現場監督・建築積算業務の経験を基に建築会社を営んで約19年になります。

年々公共工事の減少・経済の不況で厳しい状況です。

これまでの間も構造偽造問題など、それぞれの立場で直面する社会問題がありました。今年3月11日発生 of 東日本大震災・福島原発問題等と日本経済も大変な時代に突入したなど実感しつつ、何事もひとつずつ乗り越えていかなければならないことがあると思います。

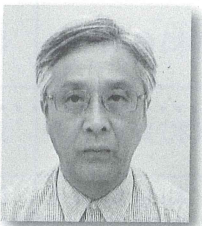
そういった時代の背景の中、建築業界の重要性が改めて認識されていますが、建築積算士の重要性はまだまだ認識されていません。

これからも建築積算士の活用促進・普及に努めていきたいと考えております。

微力ではございますが、積算協会の役員・会員の皆様方のご支援ご協力を頂いて頑張りたいと思っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

有限会社有生



山口県部会委員 林 賀津正

いつも協会・支部にはお世話になり、心より御礼申し上げます。

さて、この度山口県部会委員長の峠野さんより、部会のお手伝いに声をかけられました。つきましては、期待に応えられるように務めたいと思います。私も建築の仕事始めて37年になります。今日までに色々な事がありましたが、最後には金額で決定する事がほとんどです。

確かに計画も大事ですが、コストは避けて通る事は出来ません。私も積算業務は苦手な方です。しかも、内容は深いので浅い知識ではなかなか難しい業務だと思えます。設計図面以外の知識・情報をしぼり出す必要もあります。若い人には経験不足や地味な事もあり、敬遠される業務ですが、少しでも理解や興味を引くように頑張りたいと思えます。

以上、色々申しましたが、これを機会に皆様の御指導をもとに少しでもお役にたてればと思えますので、どうかよろしくお願ひします。

有限会社双樹設計



岡山県部会委員 倉西 透

今年度から岡山県部会の委員を務めさせていただくことになりました、倉西でございます。私は二十一年弱のゼネコン勤務を経て三年前に独立し、コンサルタントを業務とした事務所を営んでおります。ゼネコン在籍時には入社から10年を施工部で、その後に積算部で8年を過ごしました。現場から積算への移動の話を受けた時には、『自分の技術者としての人生は終わりだ』位にショックを受けた覚えがあります。それくらい『積算』という業務の社会的な位置づけは低かったのだと思います。

『積算』とは

- ・何をしているのかよくわからない。
- ・誰でも出来るからそんなに重要ではない。

というイメージではないでしょうか？

実際には『積算』というのは誰でも出来る訳でもなく、非常に重要で無くてはならない業務であります。積算課に配属されてしばらくは嫌々ながら仕事をしていました。積算業務の面白さに気付いたのはいつ頃だったでしょうか？大規模商業施設の見積を担当し、受注後に現場に常駐しての積算担当。数量算出も然ることながら、専門工事業者との金額交渉などの予算管理、そして、日々めまぐるしく変更する工事内容に対して発注者への変更見積金額提示とその交渉。毎日がピンチの連続でした。積算部に在籍していた頃の上司から『ピンチをチャンスに』とよく言われたものです。その『ピンチをチャンスに変えられる力』が今の私の積算に対するやりがいの源となっています。私の様に『積算』というものにやりがいを感じられる方が少しでも増える様に微力ながらお役に立てればと思いますので、皆様からの御指導、御鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

株式会社アークコストマネジメント



「広島法務総合庁舎新築工事」現場見学会

岡田 泰司

平成23年3月23日に、広島市中区上八丁堀の「広島法務総合庁舎」の現場見学会を行いました。参加者は60名で、今年夏に完成と言う事もあり、進捗状況は内部の仕上げ工事段階での現場見学となりました。

広島市中区上八丁堀 合同庁舎敷地内で、周辺には広島城があり隣は、広島高等裁判所があります。

SRC造 地下1階・地上12階 延床面積32,186.28㎡

外壁部分をフルPC版、柱をハーフPC版で構成された外壁PC工法と、本設の鉄骨柱・梁を利用し、地下構築のための仮設材を減少させる環境型新地下階システム構法を採用された工事です。

見学会では、まず中国地方整備局の担当者から概要と設計主旨説明が行われました。平成14年度から基本設計が始まり、途中平成17年度から19年度は埋蔵文化財発掘調査を行い工事着手は平成20年から、また「杜の庁舎」-高機能・長寿命の地域共生庁舎-といった設計主旨を丁寧にご説明いただきました。その後、施工者である清水建設㈱の工事長より採用工法の説明、仮設・揚重計画と現在までの施工各段階の写真を、プロジェクターを使いながらご説明いただき実際の現場へ移動となりました。

現場では3班に別れ、まずは工事用EVにて屋上へ、その後は階段を使い下りながら基準階を見学し地下階まで、残念ながら留置施設の見学は出来ませんでした。最新の公共庁舎を普段一般では入れない部分まで見学出来る機会を頂きました。仕上げ段階とはいえ、現場内は、きちんと整理整頓されていて、現場作業員のみなさんからは気持ち良い挨拶の声を掛けてもらい、とても良い印象を受けた現場作業場でした。

再度、会議室へ戻り質疑応答の時間となりましたが、その中の話で近くにある地元TV放送局の電波と建物との干渉の話題がありました。仮設クレーン本体や吊り上げ材での電波との干渉等、設計段階ではなかなか気付かないであろう部分の、施工でのご苦労を面白くお話し頂き、大変参考になりました。

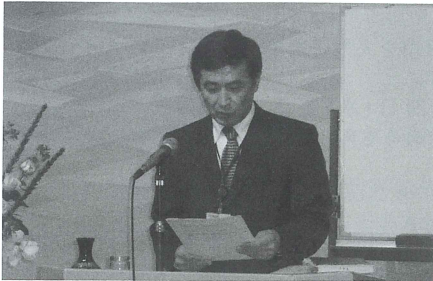
最後になりましたが見学会当日、参加者の誘導から最後のお見送りまで、お忙しい中お邪魔したにも拘らず笑顔でご説明、ご誘導して下さった清水建設の作業所のみなさまと、地方整備局の担当者の方に再度お礼を申し上げます。ありがとうございました。

株式会社岡田積算建築設計



「公共工事の建築積算について」講演会の開催

広報委員長 瀬尾 淳二



4月22日 当支部総会后 ホテル八丁堀シャンテにおいて、国土交通省 中国地方整備局 営繕部整備課 営繕設計審査官 杉本憲司様に講師をして頂き、上記講演会を開催しました。

公共工事の積算の考え方、よくある積算ミス、公共建築工事標準仕様書の解釈の違い等を公共建築工事標準仕様書を参照しながら詳しく解説して頂きました。

また、設計図と仕様書との食い違っている事もあるので、設計へのフィードバックも含め、積算に関わる方々には、標準仕様書の理解を今一度深めて頂きたいとの事でした。

今回の講演会において建築積算・建築コストに係わる方々には良い刺激になったのではないのでしょうか。

株式会社砂原組

中国四国支部での新たな試み

広報委員 深川 健太

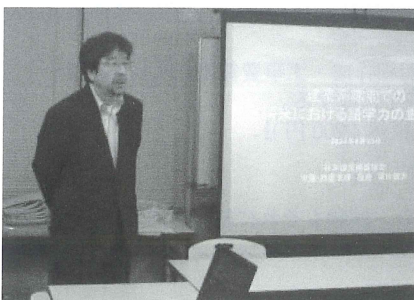
来年度からの公益法人化に向けて現在新規会員獲得が至上命題となっています。そのため、積極的な協会活動が重要であるといえます。

更なる会員獲得に向け、中国四国支部では、2011年4月より、支部事務局を使い、英会話講座を開始しました。これは、新規建築積算士補認定校の獲得にも繋がるものと考えています。語学講座以外にもPC講座も候補にあがったのですが、初期投資の必要がない前者の講座から先にテスト運用という形で、開講に至りました。

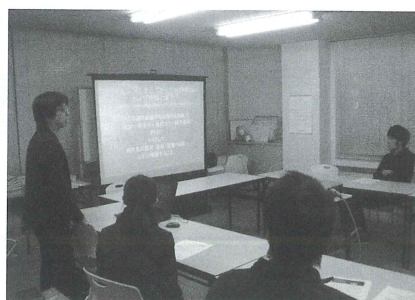
また、今年度からは学生会員という新たな会員枠が設けられことも関係しています。この会員枠は、4月の段階では、全国で1名の申込者のみという状態でした。私自身も昨年から学生へ案内はしていたのですが、「会員になるとどんなメリットがあるのですか？」とたずねられた際に、会誌が送られてくる事以上のメリットが少なかったということが原因として考えられます。そのため、この英会話講座では、学生会員と非学生会員では、年会費1年分が価格差(3,000円)として設定してあります。この設定が功を奏してか、4月から中国四国支部では、新たに4名の学生会員が誕生しました。なお、ご想像のとおり、この4名の学生会員は、講座受講者です。

今後は10月からの本運用に向け、更なる学生会員獲得に向けた改善点などについて検討していく予定です。

広島国際大学 工学部 住環境デザイン学科



大津副支部長による語学講座開講の挨拶



深川委員による海外での積算業務の現状



英会話講座の様子

社団法人 日本建築積算協会 平成 23 年度「建築積算士」試験案内

「建築積算士」とは、建築生産過程における工事費の算定並びにこれに付帯する業務に関し、高度な専門知識及び技術を有する専門家です。

(平成 23 年 4 月 1 日現在登録者数 13,158 名)

【一次試験】(基本知識に関する問題)

- ① 受験資格：平成 23 年 4 月 1 日現在、満 17 歳以上であれば、学生、社会人すべて受験できます。
※1994 年(平成 6 年)3 月 31 日以前に生まれた方
- ② 受験申込：申し込み方法は、協会ホームページに掲載する申込フォームにて必要事項を入力送信後、仮受付通知書および受験料振込用紙が原則自宅に郵送され、受験料振込により本受付されます。
- ③ 申込期間：協会ホームページから仮受付期間：平成 23 年 6 月 21 日(火)から 8 月 24 日(水)まで
受験料振込みによる本受付期間：8 月 31 日(水)までの郵便局受付印のあるもの
- ④ 受験手数料：26,250 円(消費税込)
- ⑤ 受験資格審査：受験申込者が申込フォームに記入した内容について審査します。
- ⑥ 試験地：札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・宮崎・沖縄(全国 9 都市 9 会場)
- ⑦ 試験日時：平成 23 年 10 月 23 日(日) / 12:50 ~ 15:50(3 時間)
- ⑧ 合格発表：平成 23 年 12 月 7 日(水)10 時頃に協会ホームページにて受験番号を公開します。
※このたびの東日本大震災による被災地・被災者の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。事情によっては、仙台会場の変更の可能性もございますので、ご留意下さいますようお願い致します。変更の場合、ホームページにてお知らせします。

【二次試験】(実務知識に関する問題)

- ① 受験資格：一次試験に合格した方及び一次試験を免除された方となります。
※一次試験免除対象者：次のいずれかに該当する方は、一次試験が免除されます。()内は必要な書類。
a. 建築士法による一級建築士、二級建築士及び木造建築士の免許を受けている方。(免許証等の写し)
b. 建設業法による一級及び二級建築施工管理技士の合格証明書の交付を受けている方。(合格証明書等の写し)
c. 本会が実施する積算学校卒業生。(卒業した積算学校事務局発行の証明書)
d. 平成 21・22 年度の一次試験に合格された方。(二次試験受験票(正)又はその写し)
e. 建築積算士補の方。(士補を証明できる書類)
※婚姻等で証明書等の氏名変更の場合、戸籍抄本等必要。
- ② 受験申込方法：申し込み方法は、協会ホームページに掲載する申込フォームにて必要事項を入力及一次試験免除に必要な書類の添付(あるいは郵送等)送信後、仮受付通知書および受験料振込用紙が原則自宅に郵送され、受験料振込により本受付されます。(一次試験合格者は不要)
- ③ 申込期間：協会ホームページから仮受付期間：平成 23 年 9 月 1 日(木)~11 月 11 日(金)まで
受験料振込みによる本受付期間：11 月 30 日(水)までの郵便局受付印のあるもの
- ④ 受験手数料：26,250 円(消費税込)
- ⑤ 受験資格審査：受験申込フォームに記入した内容及び添付必要書類について審査します。
- ⑥ 試験地：札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・宮崎・沖縄(全国 9 都市 9 会場)
- ⑦ 試験日時：平成 24 年 1 月 22 日(日) / 11:00 ~ 17:40(5 時間 30 分) 予定
- ⑧ 合格発表：平成 24 年 3 月 1 日(木)10 時頃に協会ホームページにて受験番号を公開します。
- ⑨ 資格登録手続き：合格発表以降に合格者へ登録書類を発送し、4 月 1 日登録証交付となります。
- ⑩ 登録手数料：12,600 円(消費税込)

【試験方法と出題範囲】

- ◇一次試験◇
 - ・試験時間・・・3 時間
 - ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブック全章、建築数量積算基準、建築工事内訳書標準書式
 - ・問題数・・・50 問
 - ・問題形式・・・4 肢択一
- ◇二次試験◇①短文記述試験
 - ・試験時間・・・1 時間
 - ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブックのうち第 1 章~第 4 章、第 9 章~第 15 章を対象とする。
 - ・問題数・・・2 問
 - ・問題形式・・・問題に対する解答を短文(200 字以内)で記述。
- ②実技試験
 - ・試験時間・・・4 時間 30 分
 - ・出題範囲・・・建築積算士ガイドブックのうち第 5 章~第 8 章、建築数量積算基準、内訳書標準書式を対象とする。
 - ・問題数・・・躯体(コンクリート、型枠、鉄筋)、鉄骨、仕上、内訳明細作成・工事費算出(以上 4 分野)
 - ・問題形式・・・図面にに基づき、数量を計測・計算する。内訳明細を作成する。

【参考図書】『建築積算士ガイドブック(税込 4,800 円)』、『建築数量積算基準・同解説(税込 4,200 円)』、『建築工事内訳書標準書式・同解説(税込 4,400 円)』

※ 図書購入お申し込みは、協会、Amazon.com あるいは全国書店へ。

【注意事項】今年度新たにガイドブックが刊行され、内容が充実し明快となったことから、試験もそれに基づき内容が見直されます。過去問題は実技試験に限って参考程度としてください。各支部にてガイドブックについての講習会が開講される予定ですので、どうぞご活用ください。

社団法人 日本建築積算協会 平成 23 年度「建築コスト管理士」試験案内

「建築コスト管理士」とは、企画・構想から維持・保全、廃棄にいたる建築のライフサイクル全般に渡って、コストマネジメント業務に関する高度な専門知識及び技術を有する専門家です。

(平成 23 年 4 月 1 日現在登録者数 1,269 名)

- ① **受験資格**：試験は、次のいずれかに該当する方であれば、受験することができます。
 - (1) 建築積算士を取得後、更新登録を 1 回以上行い、かつ建築関連業務を 10 年以上経験しそのうち、建築コスト関連業務において責任ある業務に 2 年以上の実務経験を有する方。
 - (2) 建築関連業務を 10 年以上経験し、そのうち建築コスト関連業務において責任ある業務を 5 年以上の経験を有し、かつ受験年齢が試験日当日で 32 歳以上の方。
- ② **受験申込**：申し込み方法は、協会ホームページに掲載する申込フォームにて必要事項を入力送信後、仮受付通知書および受験料振込用紙が原則自宅に郵送され、受験料振込により本受付されます。
- ③ **申込期間**：協会ホームページからの仮受付期間：平成 23 年 6 月 21 日(火)から 8 月 31 日(水)まで
受験料振込みによる本受付期間：9 月 7 日(水)までの郵便局受付印のあるもの
- ④ **受験手数料**：28,350 円(消費税込)
- ⑤ **受験資格審査**：受験者が申込フォームに記入した「建築関連業務」「コスト関連業務」「責任ある業務」についての実務経験に基づき審査します。
- ⑥ **試験地**：札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・宮崎・沖縄(全国 9 都市 9 会場)
※ このたびの東日本大震災による被災地・被災者の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。事情によっては、仙台会場の変更の可能性もございますので、ご留意下さいますようお願い致します。変更の場合、ホームページにてお知らせします。
- ⑦ **試験日時**：平成 23 年 10 月 23 日(日) 学科試験 12:50～15:20(2 時間 30 分)
短文記述試験 15:40～17:40(2 時間)
- ⑧ **合格者発表**：平成 23 年 12 月 15 日(水) 10 時頃に協会ホームページにて受験番号を公開します。
- ⑨ **資格登録手続**：合格発表後に合格者へ合格通知書と共に郵送する登録関連書類に必要事項を記入して翌年 1 月末日までに登録申請して下さい。
- ⑩ **登録手数料**：14,800 円(消費税込)

【試験方法と出題範囲】

- ◇学科試験◇
 - ・試験時間・・・2 時間 30 分
 - ・出題範囲・・・建築コスト管理士ガイドブック全章、建築積算士ガイドブックのうち第 6 章～第 8 章、第 10 章を対象とする。
 - ・問題数・・・60 問
 - ・問題形式・・・4 肢択一
- ◇短文記述試験◇
 - ・試験時間・・・2 時間
 - ・出題範囲・・・建築コスト管理士ガイドブック全章、建築積算士ガイドブックのうち第 6 章～第 8 章、第 10 章を対象とする。
 - ・問題数・・・5 問
 - ・問題形式・・・問題に対する解答を短文(200 字以内)で記述。

【学科試験免除要件】

学科試験の合格基準点をこえた超えた者は、次年度以降 2 年間学科試験を免除する。

【参考図書】『建築コスト管理士ガイドブック(税込 4,900 円)』、

『建築積算士ガイドブック(税込 4,800 円)』

※ 図書購入お申し込みは、協会、Amazon.com あるいは全国書店へ。

※ 両ガイドブックを同時購入の場合、割引あり。

【注意事項】今年度新たに両ガイドブックが刊行され、より一層内容が充実し、明快となったことから、試験もそれに基づき内容が見直されます。過去問題は参考になさらないようお願いいたします。各支部にて両ガイドブックについての講習会が開講される予定ですので、どうぞご活用ください。

お気軽にお問い合わせください

社団法人 日本建築積算協会 本部事務局
〒 105-0014 東京都港区芝 3-16-12 サンライズ三田ビル3階
Tel 03-3453-9591 Fax 03-3453-9597 e-mail hp@bsij.or.jp

～参加者主導の勉強会～

『ここが知りたい勉強会』のご案内

主 催：(社)日本建築積算協会 中国四国支部

後 援：国土交通省

当協会では、建築技術者の技術的水準及び社会的地位の向上のための講習会・研修会等を実施しております。この度、『ここが知りたい勉強会』を昨年度に引き続き、開催することになりました。詳細は下記の通りです。

是非、この機会をご活用下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 内 容・従来の一方的な講習会等とは違い、参加者主導の勉強会です。
 - ・座談会形式の気軽に参加できる勉強会です。
 - ・新人も中堅もベテランも今更聞けないことっておりますよね、まさに、『ここが知りたい』です。
 - ・会社単位でのお申込みは参加者が毎回変わっても構いません。
不得意な人、若手、何もわからない人 … 各社で人選して下さい。
 - ・個人単位でのお申込みも歓迎です。
 - ・知りたいことのみ参加、でも結構です。

2. 日 程（開催時間：毎回 18：00～20：00 開催期間：平成 23 年 5 月～24 年 2 月）

No.	開催予定日	内 容	タ イ ト ル	担 当 企 業
1	5 月 26 日(木)	座談会	身近な問題点と題材についての座談会	日本建築積算協会 中国四国支部
2	6 月 16 日(木)	内外装・金物	塗り床・各種既製金物・ 木製フローアを知る	(株)ビルト商会 (株)エービーシー商会
3	7 月 14 日(木)	石工事	石の世界、石には重圧感がある	関ヶ原石材(株)
4	8 月 4 日(木)	躯体	システム建築のメリットとは	(株)住金システム建築中国営業 業チーム
5	9 月 15 日(木)	地業工事	役に立つ地盤改良の知識	(株)テクノックス中四国営業所
6	10 月 18 日(火)	躯体	トラス筋付デッキ工法を学ぶ	(株)富士昭サンマテック
7	11 月 17 日(木)	耐火被覆・ 内装工事	耐火（被覆・間仕切）と OA フローアを学ぶ	ニチアス(株)広島支店
8	12 月 15 日(木)	防水工事	防水工事の今昔	(株)アオケン（広島） 田島ルーフィング(株)
9	1 月 26 日(木)	内装工事	内装のあれこれ、表装編	(株)川島織物セルコン
10			企画検討中	

3. 定 員 16名
4. 会 場 (社) 日本建築積算協会 中国四国支部
広島市中区八丁堀 3-12 砂原ビル 301
5. 会 費 【全回参加】
18,000 円 (1,800 円×10 回) … 前納
部分追加の場合は 1 人 1 回 1,000 円です … 当日払い
【部分参加】 1 人 1 回 2,000 円です。 … 当日払い
6. 申込方法 ①申込書を FAX または郵便でお送り下さい。
②【全回参加】の場合は会費を下記送金先へご送金下さい。
会費は原則として前納です。恐縮ですが送金手数料はご負担下さい。
③【全回参加】の追加、及び【部分参加】の場合は開催日の 2 日前までにお申し込み
い。会費は当日お支払下さい。
7. 申 込 先 (社) 日本建築積算協会 中国四国支部
〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-12 砂原ビル 301
TEL 0 8 2 - 2 2 1 - 9 7 5 9 FAX 0 8 2 - 2 2 1 - 9 7 9 4
8. 送 金 先 (社) 日本建築積算協会 中国四国支部
ゆうちょ銀行 振替貯金 (郵便振替) 0 1 3 0 0 - 7 - 5 5 4 9 4
9. そ の 他 欠席の場合、資料があればお送りします。会費の返金はありません。
当協会 CPD に申請の予定です。
10. 会場詳細 案内図は参加票と F A X にて送付します。駐車場の確保はありません。
(FAX 082-221-9794)

『ここが知りたい勉強会』 申込書

平成 23 年 月 日

所属先 住所		TEL FAX
	〒	
(フリガナ) 氏 名	()	(社) 日本建築積算協会 会員番号 :
申 込 内 容 ○印・番号を ご記入下さい	・全回参加 ・全回参加に追加 (開催 No :) ・部分参加 (開催 No :)	会費をご記入ください 円

開催場所案内図 (要 ・ 不要)

～初歩からじっくり学ぶ～

「建築数量積算」講習会のご案内

建築積算学校（広島校）第3期 部分受講

主 催：(社)日本建築積算協会 中国四国支部

後 援：国土交通省

協 賛：(社)広島県建築士会 (社)広島県建築士事務所協会 (社)広島県建設工業協会

当協会は我が国唯一の建築積算専門教育機関として、昭和52年に「建築積算学校」を開校し、現在も東京校・九州校が期を重ねており、千数百名の卒業生を送り出し各職場で活躍しておられます。当支部では、平成21年度より広島校を開校しております。

1977年に我が国で初めての官民合同による『建築数量積算基準』が完成して以来、機動的かつ適切な見直しを重ね、2000年からは公共工事全般に活用できるようになっています。

支部で作成した実習用教材（RC造一部2階建て、延べ112.50㎡）を使い、『建築数量積算基準』に則した講義を行います。ひとつの建物を教材として建築積算の実務を具体的に学習し、数量拾いから集計・内訳書の作成までができる建築積算技術者の養成を目指しています。

今回、建築積算学校の中の科目別受講を下記の通りご案内しております。すでに建築積算業務に従事されている方をはじめ社内研修等、今から習得したい方にお薦め致します。

記

1. 会 場 (社) 日本建築積算協会 中国四国支部
広島市中区八丁堀 3-12 砂原ビル 301
2. 受講資格 工業高校建築課程卒業程度の建築に関する基礎知識を有する方。
3. 講 師 (社) 日本建築積算協会 中国四国支部 専任講師
4. 定 員 10名

5. 講義内容

* A 全課程 B 鉄筋コンクリートの積算 のお申し込みは終了致しました。

C 鉄骨の積算

理解しにくい鉄骨の積算を初級と中級3回に分けて18時間（6時間×3回）で経験豊かな講師がじっくりと講義致します。

* 日程・講義内容（各日 9:30～16:30 昼食休憩を含みます）

開 催 日	講 義 内 容
平成23年7月16日(土)	鉄骨の数量積算①
7月23日(土)	鉄骨の数量積算②
7月30日(土)	鉄骨の数量積算③、集計・チェック、内訳書（鉄骨工事）の作成

D 仕上の積算

内外装の積算を中心に建具・仮設等を含めて36時間（6時間×6回）かけてじっくりと学習していただきます。

*日程・講義内容（各日 9:30～16:30 昼食休憩を含みます）

開催日	講義内容
平成23年8月20日(土)	建築数量積算基準仕上関係解説、外部仕上の数量積算①
8月27日(土)	外部仕上の数量積算②
9月3日(土)	内部仕上の数量積算①
9月10日(土)	内部仕上の数量積算②
9月17日(土)	内部仕上の数量積算③、内外仕上の集計・チェック
9月24日(土)	建具・仮設・木材・屋外施設等の数量積算

6. テキスト

C 鉄骨の積算	⇒	「建築積算テキスト」・・・1,500円 実習用教材(鉄骨偏)・・・1,000円
D 仕上の積算	⇒	「建築積算テキスト」・・・1,500円 「建築数量積算基準・同解説」・・・4,200円 実習用教材・・・2,000円 *全て税込

7. 受講料	C 鉄骨の積算	・・・18,000円
	D 仕上の積算	・・・36,000円

(1日について6,000円)

8. 申込方法

- ①申込書を郵便またはFAXでお送り下さい。
- ②受講料を下記送金先へご送金下さい。
受講料は原則として前納です。お振込手数料はご負担下さい。
- ③受講票及びテキスト引換券をお送りしますので、当日ご持参下さい。

9. 申込先

(社) 日本建築積算協会 中国四国支部
〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-12 砂原ビル 301
TEL 082-221-9759 FAX 082-221-9794

10. 送金先

(社) 日本建築積算協会 中国四国支部
ゆうちょ銀行 振替貯金(郵便振替)
口座番号 01300-7-55494

12. その他

欠席の場合、ご注文のテキストと実習用教材はお送りしますが、受講料の返金は致しません。

13. 会場詳細

駐車場の確保はしていません。

(FAX 082-221-9794)

平成 23 年 月 日

～初歩からじっくり学ぶ～

「建築数量積算」講習会

建築積算学校（広島校）第3期 部分受講 申込書

勤務先		TEL FAX
住所	〒	
(フリガナ) 氏名	()	積算経験 年
受講票送付先が 勤務先以外の場合	〒	TEL FAX
<input type="checkbox"/> 印	受 講 内 容	受 講 料
<input type="checkbox"/> A	全課程：23日	円
<input type="checkbox"/> B	鉄筋コンクリートの積算：5日	30,000円
<input type="checkbox"/> C	鉄骨の積算：3日	18,000円
<input type="checkbox"/> D	仕上の積算：6日	36,000円

テキスト

『建築数量積算基準・同解説』	4,200円(税込)	要(部)・不要
『建築積算テキスト』(当協会発行)	1,500円(税込)	要(部)・不要
実習用教材	2,000円(税込)	要(部)
実習用教材(鉄骨偏)	1,000円(税込)	要(部)

テキスト代合計 円

受講料 + テキスト代 合計 円

- * 部分受講の方は『建築積算テキスト』(お持ちでない方)と実習用教材は必ずお求め下さい。
- * 『建築数量積算基準・同解説』はお持ちでない方はお求め下さい。
- * こちらの用紙をコピーしてご使用下さい。

一般社団法人 日本建築積算事務所協会 (JAQS)

建物の価値を高める「コストと品質」を管理する積算事務所

我々積算事務所は、コスト管理の専門家集団として建築コストの透明性、客観性、妥当性を確保し、社会のニーズに積極的に対応しています。

(本 部)

名 称 一般社団法人 日本建築積算事務所協会 理事長 楠山 登喜雄
 所 在 地 〒105-0021 東京都港区東新橋 2-10-10 東新橋ビル 2 階
 電話 03-5972-1520 FAX 03-5972-1521 E-mail:hashimoto@jaqs.jp
 URL <http://www.jaqs.jp>

地 域 会 関東地域会、東海北陸地域会、関西地域会、中国四国地域会

(中国四国地域会)

名 称 一般社団法人 日本建築積算事務所協会 中国四国地域会 会長 網代木 元
 所 在 地 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-12 砂原ビル 301号
 電話 082-511-8520 FAX 082-511-8525
 URL www.jaqs.jp/chusikoku/

中国四国地域会 会員名簿

中国四国地域の積算事務所を代表する地域会です。私達、地域会の活動によりコストマネジメントのプロフェッションとして信頼を確立していくことを目標としています。



会員企業名	登録者名	住所・TEL・FAX
おおぞら建研(有)	菅原 博	〒733-0821 広島市西区庚午北 1-10-5
		082-272-2921・082-271-6629
(株)岡田積算建築設計	岡田 泰司	〒730-0047 広島市中区平野町 11-12
		082-299-5052・082-504-7621
(有)久保田建築積算事務所	久保田 寿	〒730-0012 広島市中区上八丁堀 7-5 ピロティヒロシマビル 501号
		082-511-9355・082-511-9357
(株)ハジメ積算コンサルタント	網代木 元	〒730-0048 広島市中区竹屋町 3-8
		082-248-0705・082-248-0702
(株)広島二葉積算	岸本 武	〒730-0041 広島市中区小町 1-20 今井広島ビル 3F
		082-247-6941・082-245-8144
(株)古澤建築事務所	古澤 正孝	〒734-0051 広島市南区東青崎町 10-3 洋和ビル 1F
		082-285-8820・082-285-8821
(株)ペントハウス積算	椿野 隆則	〒732-0056 広島市東区上大須賀町 1-23
		082-506-0570・082-264-7722

※ 入会ご希望の方は会員入会申込書をご請求下さい。

<http://www.kyoei.co.jp/fks>
大競争時代、明日を勝ち抜く
協栄産業の積算・見積システム
FKS・COMPASS
協栄産業株式会社
 ソリューション営業部 大阪市福島区福島3-14-24
 TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

建設資材の総合商社

光和物産株式会社
 広島支店 / 広島市西区大芝2丁目10番23号
 〒733-0001 TEL(082)230-1855(代) FAX(082)230-1866

人と建築の交りを探る……

大旗連合建築設計株式会社
 代表取締役 大旗 健

 本社 〒730-0051 広島市中区大手町3丁目3番27号
 電話 (082)244-3734 FAX (082)244-2642
<http://www.oohata-arch.co.jp/>
 岩国営業所

建築積算を基盤にコスト面から
 建築のあらゆるステップでクライアントのパートナー
 ㈲日本建築積算協会 ㈲広島県建築士事務所協会 ㈲日本建築積算事務所協会 会員

株式会社 岡田積算建築設計
 業務内容：建築積算・建築コスト管理 〒730-0047 広島市中区平野町11-12
 プロジェクトマネジメント TEL 082-299-5052 FAX 082-504-7621
 建築設計・工事監理 URL:<http://www.okada-sekisan.co.jp/>
 okada building survey & architectural office

子どもたちに誇れるしごとを。
SHIMIZU CORPORATION
清水建設

～新しい国づくりに貢献する～
株式会社 砂原組


 〒730-0047 広島市中区平野町1番16
 TEL(082)243-7421 FAX(082)243-7420
 URL <http://www.sunahara.co.jp>


想いをかたちに

竹中工務店
www.takenaka.co.jp

建築設計・監理
有限会社 谷村建築設計事務所
 一級建築士・代表取締役 谷村 禎己
 〒732-0008 広島市東区戸坂くろめ木1丁目1-6
 TEL (082) 502-5781 FAX (082) 502-5782

 株式会社 ハジメ積算コンサルタント
 デザインとコストの調和をマネジメント
 建築各段階のコスト管理を提案します。
 代表取締役社長 網代木 学
 広島市中区竹屋町3番8号 〒730-0048
 TEL(082)248-0705 FAX(082)248-0702
<http://www.hajimesekisan.co.jp/>

 株式会社 広島二葉積算
 代表取締役会長 岸本 武
 取締役社長 小田 武彦
 コストアドバイザー
建築の積算及工事費の算出
 〒730-0041 広島市中区小町1-20今井広島ビル TEL247-6941
株式会社 二葉積算 FAX245-8144
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目7-30 TEL03-3369-1244
 小田急柏木ビル9階
 各支社 東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌

業務内容
 ◎ 建築確認・検査 ◎ フラット35 適合証明
 ◎ 住宅かし担保責任保険 ◎ 長期優良住宅技術審査など
 指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター
 本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
 TEL 082 (228) 2220 FAX 082 (228) 2231
 営業所 〒720-0034 福山市若松町8-22
 TEL 084 (928) 3979 FAX 084 (928) 3974

■設計・監理 (社)徳島県建築士事務所協会会員

株式会社 西田設計
 代表取締役 西田 功
 〒770-0943 徳島市中昭和町2-23-2
 TEL(088)654-7766(代) FAX(088)654-7769
 E-mail:nishida@tk2.nmt.ne.jp

USHO 株式会社 有生 ゆう しょう

代表取締役 有瀬 實

高知市針木東町 26 番 51 号 〒780-8086
TEL 088-844-3612
FAX 088-840-9977

ea
エコアクション21
認証・登録番号0006026

建築積算システム開発

System Obje

システム オブジェ 山本 慎二
http://www5.ocn.ne.jp/~yama1900

システム開発協力
横段建築事務所
〒737-0001 広島県呉市阿賀北8丁目 5-18
TEL(0823)73-5721 FAX(0823)73-5621

中国地区唯一の建設総合専門誌

中建日報社

正確・迅速な報道をモットーに情報を的確にお届けします

株式会社 中建日報社 支社・支局

代表取締役 絹井 正博 岡山支社 086-225-5681 呉支社 0823-70-0226
〒730-0805 広島市中区十日市町2丁目1-8 山口支社 083-901-0188 周南支局 0834-32-7371
TEL (082) 297-7111 (代) 防府支局 0835-23-2906 東京・大阪・福岡
FAX (082) 297-7112 福山支局 084-920-8431

西風新都
KISHO
Printing Co.,Ltd.

喜勝印刷株式会社
〒731-3168 広島県広島市安佐南区伴南2-5-5
TEL.(082)830-1711 FAX.(082)830-1001
E-mail:kisho01@plum.ne.jp

コンペ便り

第32回積和会ゴルフコンペが平成23年4月23日(土)に広島佐伯カントリークラブにおいて14名の参加で開催されました。(ダブルペリア方式)

		グロス	ハンディ	ネット
優勝	大津 和紀	95	20.40	74.60
2位	太田 和夫	108	32.40	75.60
3位	西山 圭吾	108	31.20	76.80

表紙説明

瀬戸大橋を望む絶好の地に日本画の巨匠東山魁夷画伯の作品280点余りを収蔵、展示している。2004年に、谷口吉生氏、谷口建築設計研究所により設計。

(社)香川県観光協会

編集後記

震災で被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。復興には10年単位の時間がかかると言われていています。私たちに出来ること義援金・寄付etc...色々あると思います。私の出来ることを継続的に続けていきたいと思っています。

この度、広報委員長という大役を任され、初の「中・四タイムス」となります。至らぬ点があるかとは思いますが、当協会の広報活動を精一杯頑張りますので宜しくお願いいたします。

(広報委員長 瀬尾 淳二)



中・四タイムス第41号 編集:広報委員会

委員長 瀬尾 淳二
委員 斉藤 二郎
委員 深川 健太

発行 社団法人日本建築積算協会 中国四国支部
〒730-0013 広島市中区八丁堀3-12 砂原ビル301

印刷 喜勝印刷株式会社

